

## 広島市における土砂災害にあたって

8月20日に発生した広島市北部の大規模な土砂災害によって犠牲となられた方々に対し、心より哀悼の意を表します。

自然災害とはいえ、子供たちを含めた多くの方々が犠牲となられたことは、我が子の親として、両親の子として、到底納得できることはありません。そして、御遺族の皆様への悲しみと絶望は、想像を絶するものがあるでしょう。その言葉にならない叫びをどこにぶつけていけばいいのかと、途方に暮れていらっしゃることでしょう。

御遺族の皆様へ心よりお悔やみを申し上げます。

被災された皆様へ、心よりお見舞い申し上げます。行方の分からない御家族や御友人が、一刻も早くその無事が確認されますことをお祈りいたします。

懸命な救助活動が実を結び、一人でも多くの方が御家族のもとに帰られ、一日も早く、もとの生活に戻れることを心よりお祈りいたします。

避難勧告に基づいて避難所生活を送っておられる1700人の方々が、心の平穏を取り戻し、一日も早く我が家に戻れることを願います。

復旧復興は長期化の様相を呈していますが、多くが避難所や駐車場として使用され、夏休みが明けても授業の再開の目処が立たない広島市の安佐北区、南区の小中学校が、子供たちの笑顔に溢れ、未来を生きるための学びの場となって、一日も早く再開することを願います。

平成26年8月25日

全日本教職員連盟委員長 岩野 伸哉